

令和 7 年松本市議会第 1 回臨時会
市 長 提 案 説 明

[7.5.14(水) 10:00]

令和 7 年松本市議会第 1 回臨時会を招集しましたところ、議員の皆様にご出席をいただき、厚く御礼を申し上げます。

議案の提案理由の説明に先立ち、所信を述べさせていただきます。

この度の、松本マラソン 2023 大会における不正な会計処理に關しまして、大勢の皆様の期待と信頼を裏切る結果になりましたことを、改めてお詫び申し上げます。

今月 2 日の議員協議会の集約を受けて、第三者による検証を行うため、現在、弁護士や公認会計士を交えた組織を設置する準備を進めております。不正な会計処理に至った原因や法的責任の有無などについて検証を行い、速やかに公表できるよう取り組んでまいります。

2025 大会につきましては、実行委員会と共に、主催者である長野陸上競技協会の方承もいただき、今月 5 日にホームページ上で正式に中止を発表いたしました。2026 年以降の大会につきましては、関係する各種団体、ランナーや市民の皆様のご意見をお聞きしながら、大会の在り方や運営のスキームなどを総合的に検討し、方針を決定してまいります。

続いて、「松本市宿泊税条例」について申し上げます。

今回取りまとめた骨子案では、松本ならではの魅力を高め「国際文化観光都市」として国内外からの来訪を促進すること、そして、地域や市民の暮らしと調和した「持続可能な観光振興」を図ることを、松本市の観光が目指す姿と位置付け、その実現に必要な費用を継続的に確保することを目的に、宿泊者一人当たり一泊 150 円を独自に課税するとしています。

今後は、市議会からのご意見や、現在実施中のパブリックコメントの結果を踏まえて、9 月議会に条例案を提出し、長野県の宿泊税と同様、来年 6 月からの施行を目指していきます。

松本市としては、長野県と歩調を合わせながら、独自に課税を行うことで、宿泊税の使途や配分を「観光ビジョン」に基づいて主体的に決定し、観光振興への投資を地域や市民への還元につなげることができるよう取り組んでまいります。

次に、ゼロカーボン社会の実現に向けた取組みについて申し上げます。

す。

2024年は「観測史上最も暑い年」の記録を更新し、世界各地で気候災害が相次ぎました。今年に入ると、アメリカ・ロサンゼルス近郊で大規模な山火事が発生したほか、日本でも岩手県や愛媛県で過去最大級の山火事が相次ぎ、気候変動対策は待ったなしの状況を迎えています。

松本市は、気候変動対策として、脱炭素化を「まちづくりの大原則」と位置付け、2021年以降、条例の制定や松本平ゼロカーボンエネルギー株式会社の設立をはじめとする、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを加速してきました。一方で、市民の皆様からは、具体的に何をすればいいのかわからないといった声も数多く寄せられていました。

そうした中、松本市と信州大学が無作為抽出で選ばれた市民とともに開催した「気候市民会議まつもと」が、市民の行動変容を促す指針となる「ゼロカーボン市民アクションプラン in まつもと」を取りまとめました。20のテーマと50のアクションで構成されるアクションプランは、一人ひとりが取り組むべき日常の行動を平易な言葉で分かりやすく記しています。

松本市としては、このアクションプランを脱炭素社会実現のための「バイブル」と位置付け、一昨日開催したゼロカーボン推進本部会議では、50項目それぞれに担当課を割り当て、市役所が一丸となってその周知と実践に取り組むことを確認しました。

今後は、市民セクター・教育セクター・行政セクターのそれぞれでアクションプランを周知・浸透させ、世代を超えた広範な市民運動として展開・定着することを目指してまいります。

最後に、令和7年度の職員採用について申し上げます。

団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年に向けて、近年、業務の見直しとともに現役世代の確保が大きな経営課題となっている中で、多くの企業や自治体では、従来の「新卒一括採用」から、多様な経験を持つ社会人、いわゆるセカンドキャリア人材の登用へと、採用の流れが大きく変わりつつあります。

松本市でも、新規採用職員に占める30代以上の割合が、今年度は10年前に比べて2倍以上の33パーセントに上昇しています。一方で、こうしたセカンドキャリア職員の昇進や給与は、従来の制度の運用を基に定めているため、成果や実力に見合っていない面もありました。

こうした現状を踏まえ、令和8年度に採用する職員の募集に当たっては、過去最多となった今年度につき、100人を超える採用を

実現できるよう、職種によって年齢上限を引き上げるほか、試験場所を増やしたり試験日を前倒しするなどして、仕事を持っている人材が受験しやすいよう配慮をしています。

加えて、30代で採用された職員が能力や実績に即して昇格期間を短縮できるように、今年度から主任昇格試験を導入します。これによって、入庁から7年とされている主任昇格までの期間が、最短で3年に短縮されることになります。

松本市で働くことを希望する多様な人材を積極的に採用し、三ガク都のシンカに取り組む意欲とアイデアを持つ職員の確保に努めてまいります。

それでは、ただいま上程された議案について、ご説明いたします。

提案した議案は、契約1件、財産3件のほか、報告案件として、緊急を要し、専決処分をした条例2件、予算1件、契約1件の、合計8件であります。

はじめに、契約案件では、市道1054号線の道路改良工事の請負契約を締結するもの1件を提出しています。

次に財産では、避難所に配備するための気化式冷風機の取得のほか、路面清掃車などの取得3件を提出しています。

また、緊急を要し、地方自治法第179条の規定により、3月31日付けで専決処分した市税条例等の改正及び国民健康保険税条例の改正、去る3月28日付けで専決処分した令和6年度一般会計補正予算並びに去る3月31日付けで専決処分した篠ノ井線村井駅東西自由通路新設及び半橋上駅舎整備工事の施行に関する協定の議決更正1件の、計4件を報告しています。

このうち、補正予算につきましては、緊急に補正措置が必要となった単独道路新設改良事業について繰越明許費を設定しています。

そのほか、議案以外のものとして、市長の専決処分事項の指定にかかわる報告、4件を報告しています。

以上、本日提案いたしました議案等について説明申し上げました。ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

(以上)